

平成24年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉱業費

2目 中小企業振興費

産業振興総室[産学金官連携室](内線:7663)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 医工連携戦略プロジェクト事業	741	0	741				741	
トータルコスト	1,546千円(前年度 0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	検討会の開催 など							
工程表の政策目標(指標)	産学金官連携の体制づくり及び県補助制度による企業支援の強化:産学金官連携及び県補助金制度による事業化件数40件							

説明

1 事業の概要

医療機器産業は、高齢化の進展等により市場が今後益々拡大する事が予想される(現在約2兆円)。本県には、鳥取大学医学部・工学部があることから、ものづくり系企業の集積や、医工の連携が可能な環境にあり、医工連携による医療機器産業への参入を促進することにより、新たな産業の創出につながる可能性がある。

県内における医療機器産業の創出を図るため、ワーキンググループを形成し医療機器等に関する市場ニーズと県内企業の技術力のマッチングを促進する。

2 事業内容

鳥取大学医学部・工学部、県内企業、県外企業等から構成されるワーキンググループを作り、鳥大医学部の医療現場におけるニーズ、医療機器市場におけるニーズ及び技術シーズ等についての情報交換を行う。県内企業の技術力を活用できる製品を、知的財産の取得状況等を踏まえながら絞り込み、開発メンバーの選定等を行い、事業化に向けた事業計画の策定等を行う。

鳥取大学医学部附属病院は、「頼れる病院ランキング(週間ダイヤモンド20111029)」の西日本病院1位(国立大学病院でも全国1位)に選ばれている。高度先進医療を目指し質の高い医療を提供する病院との連携により、医療現場における最先端のニーズに合った製品(例:ロボット手術室)を開発し、地域における医療機器産業と医療水準の相乗的な発展を図る。

事業化にあたっては、国の「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」等を想定。

ワーキンググループメンバー(10名程度)

区分	所属	職・名
研究機関	鳥取大学医学部	医学部長
	〃 工学部	工学部長
	〃 産学・地域連携推進機構	機構長
	〃 知的財産部門	部門長
企業	(県内外)	
行政	鳥取県商工労働部	部長

スケジュール

時期	内容
4月	第1回:市場ニーズ、技術シーズ等の情報交換、スケジュール打ち合わせ
5月	第2回:開発製品の検討、先行技術調査
6月	第3回:開発製品の絞り込み
7月	第4回:事業計画打ち合わせ、予算検討

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取大学医学部には、医療機器開発へのニーズが存在し、内視鏡の開発等をメーカーと行っているが、県内企業とは医師の接点が無く開発にほとんど加わっていないため、地域の産業の発展に活かされていない。行政が大学と企業の間に入り、マッチングを促進することで地域産業の発展に繋げることができる。